

11月11日～12月10日は“差別をなくす強調月間”です

人権イベントマップ すべては、あなたから…

市では、11月11日から12月10日までを「差別をなくす強調月間」として、各地域でさまざまな人権に関するイベントを開催します。

ぜひ、この機会にご参加いただき、今一度「人権」について考えてみませんか。

阿山会場（阿山支所事業）

阿山地区人権フェスティバル 2007

とき 12月1日（土）午後1時30分～
ところ あやま文化センター さんさんホール

内容 ◇人権作品表彰
◇人権作文朗読
◇講演 大和太鼓「夢幻」
～地区からの発信～
講師：岸本里美さん

※手話通訳



鼓

伊賀会場（伊賀支所事業）

差別をなくすいがまちの集い

とき 11月30日（金）午後7時～
ところ ふるさと会館いが

内容 ◇人権作品表彰
◇人権作文朗読
◇記念講演
演題：『あらためて
部落差別を考える』

講師：奥田均さん

※手話通訳・要約筆記



学

島ヶ原会場（島ヶ原支所事業）

しまがはら人権のつどい

とき 11月17日（土）午後7時～
ところ 島ヶ原会館
ふれあいホール

内容 ◇人権作品表彰
◇人権作文朗読
◇講演会

演題：『一人ひとりが輝いて生きる
～自分らしさの種をそだてよう
こころとからだの栄養～』

講師：金香百合さん（HEAL ホリスティック教育実践研究所長）

※手話通訳



輝

大山田会場（大山田支所事業）

大山田人権フェスティバル 2007

とき 12月9日（日）午後7時～
ところ 大山田農村環境改善センター
多目的ホール

内容 ◇人権作品表彰
◇人権作文朗読
◇人権コンサート『願児我楽夢』

※手話通訳・託児室



夢

上野会場（本庁事業）

人権を考える市民の集い

とき 12月8日（土）午後1時30分～
ところ 伊賀市文化会館
さまざまホール

内容 ◇人権作品表彰
◇人権作文朗読
◇子どもたちからの発信

依那古小学校5・6年生『本当の仲間とともに』
神戸小学校6年生『6年生からのメッセージ』

◇記念講演

演題：『疑惑は晴れようとも
～松本サリン事件の犯人とされた私』

講師：河野義行さん

※手話通訳・要約筆記・磁気誘導ループ



冤

青山会場（青山支所事業）

2007 人権のつどい

とき 12月8日（土）午後1時30分～
ところ 青山ホール

内容 ◇人権作品表彰
◇人権作文朗読
◇トーク&コンサート

演題：『人生あきらめたらあかん！
～足りないものに不平不満を言わず、
有るものに感謝～』

講師：市岡裕子さん（ゴスペル歌手）

※手話通訳



感

◆各会場に関する問い合わせ◆

【上野会場】本庁人権政策課（☎ 22-9631）

【伊賀会場】伊賀支所人権同和課（☎ 45-9108）

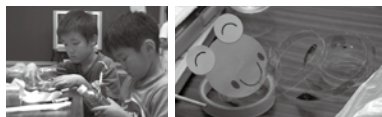
【島ヶ原会場】島ヶ原支所人権政策推進室（☎ 59-2152）

【阿山会場】阿山支所人権政策推進室（☎ 43-0334）

【大山田会場】大山田支所人権同和課（☎ 46-0140）

【青山会場】青山支所人権同和課（☎ 52-3232）





元気いっぱいジャンプ！！

●●●●● 新居放課後子ども教室 ●●●●●

9月27日、新居小学校の空き教室で実施している新居放課後子ども教室で、ペットボトルを使ったリサイクル工作が行われました。ペットボトルに絵や模様を書いてから1センチくらいの幅にはさみで切り、最後にかえるの顔とお尻を貼り付けて、割り箸に糸で結び付けると「かえるピョンピョン」の出来上がりです。ペットボトルは固くて曲がっていて、子どもたちには切るのが大変でしたが、やっと完成するとかえると一緒にピョンピョンと飛び跳ねていました。

この新居放課後子ども教室は、新居地区の保護者らが小学校1年生を対象に放課後や夏休みの日中に活動しており、現在17名の児童が参加しています。

放課後子ども教室推進事業は、地域の子どもの安全で安心な居場所を学校内や公民館などに設け、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動などの取り組みを通して学びの機会を作ることを目的として実施しています。この事業のお問い合わせは、教育委員会生涯学習課（☎22-9679）までお寄せください。

十二夜の月灯りに照らされて

●●●●● 上野城新能 ●●●●●

9月22日、上野城本丸広場特設舞台上で上野城新能^{たきぎのう}が行われました。今年は、小鍛冶^{こかじ}、鬼瓦^{おにがわ}、船弁慶^{ふねべんけい}前後之替^{このかえ}の3演目がありました。はじめに青山太鼓保存会による太鼓の演奏があり、ざわめいていた来場者はしだいに聞き入りました。太鼓が終わるとだんだん日も暮れてきて、内保副市長と岩田議長が薪に火入れを行いました。

船弁慶の後シテ^{たいらのとももり}での平知盛^{なげな}の幽霊^{おに}が薙刀^{なぎなた}を振りかざし、義経一行に襲い掛かる場面など、薪の炎ごしに見る能は迫力があり、実際に船の上で戦っている姿を想像させました。

当日は十二夜の月が明るく、薪の火と月の光に照らされた上野城は、能の幽玄な雰囲気とあまって、妖しく静かにたたずんでいました。



阪神・淡路大震災から学ぶ

●●●●● 防災講演会 ●●●●●

10月20日、伊賀市文化会館で防災講演会が行われ、講師に前兵庫県知事の貝原俊民^{かいばらとしたみ}さんをお招きし阪神・淡路大震災に学ぶと題してお話いただきました。

貝原さんは、映像を交えながら阪神・淡路大震災の被災状況を細かく説明し、丘陵地が多く、地質のやわらかい日本の地形を考えずに大きな建物を集中させた都市部は特に地震の危険度は高い。大地震の際、消防・警察などの公的機関だけでは限界があり、当時の被救助者数の約80%は自力脱出者であった。また、日本で起きた災害の統計からも自助が基本となっている。大地震に備え、「学習する」「住居などの安全性を高める」「危機に備えてのネットワークづくり」などの自助力の向上が必要と話しました。

